

第 61 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 平成 28 年 10 月 19 日 (水) 15:30~16:30
- 場 所 : 政策研究大学院大学 会議室 3C
- 出席者 :
 - 〔学外委員〕
石田委員、老川委員、奥委員、小野委員、加藤委員、工藤委員、中邨委員、
林委員、早房委員、
 - 〔学内委員〕
白石学長、大山理事、園部副学長、増山副学長、横道副学長、今野学長特別補
佐、中野大学運営局長
- 欠席者 :
 - 〔学外委員〕
嶋津委員
 - 〔学内委員〕
角南副学長、道下学長特別補佐

I. 審議事項

1. 平成 27 年度の業務の実績に関する評価結果(原案)について

資料に基づき、中野大学運営局長から、平成 27 年度に係る業務の実績に関する評価について、国立大学法人評価委員会より評価結果(原案)が示されたこと、その内容、及び今後字句の整理・修正等を行うのみとし、評価に対する意見申立は行わない予定である旨説明があり、これを了承した。

2. 本学における給与改定について

資料に基づき、中野大学運営局長から、平成 28 年度人事院勧告に対する本学の対応について、国の給与法及び人事院規則が勧告どおり改正されることを前提に、本学教職員の給与については国家公務員に準じた改定を実施すること、役員の報酬については、国家公務員(指定職)の取扱に準じた改定を実施すること、及び今後のスケジュールについて説明があり、これを了承した。

3. 平成 28 年度学内補正予算について

資料に基づき、中野大学運営局長から、平成 28 年度学内補正予算について、総事業費は当初予算から 524 百万円増の 4,307 百万円であること、運営費交付金対象事業に係る補正内容の主な増減理由として、収入は、Public Finance プログラム運営費受入に伴う収入の増や前中期目標期間繰越積立金の取り崩しに伴う増があること、支出は、人事院勧告実施、法定福利費所要額の精査、物件費への振替計上等に伴う人件費の増減、サマープログラム実施費用の実績を踏まえた減、大学概要・パンフレットの更新による増等がある旨説明があり、これを了承した。

4. GRIPS 基金の設立について

資料に基づき、中野大学運営局長から GRIPS 基金の設立について、修学支援事業に対する個人寄附に係る税額控除の導入の概要、GRIPS 基金取扱規程の制定、運営体制等 GRIPS 基金設立に必要な各種規定等整備、及び今後のスケジュールについて説明があり、これを了承した。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○:学外委員、△:本学)

○：報道によると、文科省が国立大学の寄附を増やすことを目的としたファンドレイザー雇用のため、1校930万円を助成している。他大学では経済界・銀行等の経験者を集めてOBを訪問し寄附を集めており、極めて効果がある。卒業生だけでなく共同研究相手も対象としている。記念事業の実施に係る寄附を募る場合もある。技術系の分野があるとやりやすいが、GRIPSは文系のみのため、そこを上手に設計する必要がある。ぜひ今後はそのような体制作りをしてはどうか。

△：930万円の枠組みについては、本学は要件を満たしておらず、配分の対象外となっている。類似しているものとして、寄附を含めた民間連携コーディネーターの予算要求を行っている。

○：修学支援事業基金について、PST要件とされている数値及び本学の現状の数値はどこに位置しているのか。

△：過去5年間の寄附、具体的には平均10名以上、かつ30万円以上という要件があり、本学は現在9.5人程度で来年には要件を満たす見込み。

○：海外の大学では寄附者に対して大学からの礼状だけでなく、奨学金を受給した学生本人の写真と礼状が送られるなどし、寄附者がさらに寄附をしたくなる仕組みになっている。手間はかかるが、同様に寄附者をつなぎとめ、広げていく努力・工夫が必要では。

○：企業からの寄附はどうか。

△：全額損金算入となる。

○：基金の中でも修学支援事業基金が税額控除の選択制の対象であることを振込用紙にしっかりと明記することが非常に重要である。また各大学が苦勞していることだが、富裕層の個人や生前贈与の寄附を探すことが重要である。

△：今後検討を行う。

5. 研修等業務手当にかかる規則の改正及び制定について

資料に基づき、中野大学運営局長から、政策連携強化プログラム（SPRIプログラム）等の研修等事業実施に係る手当について関連規則の一部改正・制定を行うこと、及び今後のスケジュールについて説明があり、これを了承した。

6. 給与支給日の変更について

資料に基づき、中野大学運営局長から、給与支給業務に係る事務手続きの見直し・効率化を図る一環として、事務負担軽減のため給与支給日を現行の17日から3日後倒しし、20日に変更する旨説明があり、これを了承した。

7. その他

特になし。

II. 報告事項

1. 平成29年度概算要求について

資料に基づき、中野大学運営局長から、平成29年度概算要求について、文部科学省の国立大学法人運営費交付金等の概算要求の概要、及び本学からの機能強化経費要求の査定状況について報告があった。

2. 財務分析について

資料に基づき、中野大学運営局長から、財務分析について、財務諸表、財務指標分析及び今後のGRIPSの予算の見通しのポイントについて報告があった。

3. GRIPS International Advisory Committee (IAC)の開催について

資料に基づき、白石学長から、2017年3月6日、7日にGRIPS International Advisory Committeeを開催し、委員5名全員が参加予定である旨報告があった。

4. その他

(1) 今野学長特別補佐より、政策研究院で作成した小冊子『リーダーをめざす人にすすめる古典70』について紹介があった。

(2) 委員より、次期学長を早期選考したことについて、本学の新たな取組としてスムーズな引継ぎを期待するとともに、今後本取組について両学長に意見を伺いたい旨発言があった。

以上。